

2024年度分

学校関係者評価報告書

評価対象期間 自：2024年4月 1日
至：2025年3月31日

都築教育学園
鹿児島第一医療リハビリ専門学校

目 次

1. 目 的		2
2. 評価項目		2
3. 評価組織		2
4. 実施の概要		2 ～ 3
5. 細部実施事項		3 ～ 4
6. 評価結果		4 ～ 5
7. 総 括		6

別 紙「学校関係者評価アンケート結果」

1 目 的

次の目的をもって学校関係者評価を実施した。

- (1) 学校運営について評価して頂き、今後の改善を図る上での意見を頂く。
- (2) 学校としての説明責任を果たし、学校運営に関する理解と協力を得て、より良い学校づくりを進める。
- (3) いただいた評価を下に改善措置を講じることにより、教育の質の向上を図る。

2 評価項目

次の項目について、関係法令等に基づき合规・適正に効率的に行われ、所望の効果を得ているかを評価していただいた。

- (1) 学校運営
- (2) 教育活動
- (3) 教育成果
- (4) 学生支援
- (5) 学習環境
- (6) 募集広報
- (7) 学校評価
- (8) 情報公開

3 評価組織

- (1) 評価委員（個人名は略）

ア 委員長：学校後援会会長（理学療法学科 保護者）

イ 委 員：理学療法学科 保護者

作業療法学科 保護者

言語聴覚学科 保護者

柔道整復学科 保護者

はり・きゅう学科 保護者

- (2) 学校教職員

ア 校長、教学部長、各学科長及び各学科教員

イ 事務局：事務長以下、事務職

4 実施の概要

- (1) 実施時期・場所

2025年4月29日（火） 鹿児島第一医療リハビリ専門学校

- (2) 実施事項

ア 全般説明

イ 自己評価報告書

ウ 各学科の公開授業

- エ 教育施設・設備及び教育研究機器類の確認
- オ 評価アンケートの記入
- カ 各評価委員による意見交換
- キ 食事・懇談

5 細部実施事項

(1) 全般説明

次の事項について、学校の現況、取組などについて説明を行った。

1. 学校運営
 - ①運営方針・事業計画
 - ②学校組織図
 - ③業務運営の改善
2. 学生支援
 - ①学生相談への対応
 - ②学生への経済的支援
 - ③学生の健康管理
3. 学習環境
 - ①施設・設備の整備
 - ②学外を含めた実習環境
 - ③安全管理に関する措置
4. 募集広報
 - ①学生募集・広報
 - ②入学選考
5. 学校評価
 - ①自己点検・自己評価の実施
6. 情報公開
 - ①情報公開の方法
7. 教育活動
 - ①各学科の在籍者数
 - ②各学科の教育目標
 - ③カリキュラムの体系
 - ④進級ならびに卒業基準
 - ⑤個々の学生に応じた教育・指導
 - ⑥各学科の学生支援
8. 教育成果
 - ①求人件数・就職率の推移
 - ②国家試験合格率
 - ③退学・在籍者数の推移

④卒業生のフォロー

(2) 各学科の公開授業

次のとおり、各学科長等の随行・説明の下に各学科の授業を評価委員に公開し、カリキュラムに基づく教育の実施状況、特に、教育内容、教育要領（教育型式・方法等）、教員の資質・能力等について評価していただいた。

- ア 理学療法学科：1・2・3年生授業風景（動画）（全学年）
- イ 作業療法学科：高齢期作業療法学（2年）
- ウ 言語聴覚学科：言語聴覚障害診断学Ⅱ（3年）
- エ 柔道整復学科：臨床柔道整復学Ⅲ（2年）
- オ はり・きゅう学科：東洋医学臨床論Ⅰ（2年）

(3) 教育施設・設備及び教育研究用機器の確認（実視）

次のとおり、学科長の随行・説明の下に各学科の主要な教育施設・設備及び主要な教育研究用機器類を評価していただいた。

- ア 理学療法学科：機能訓練室、基礎医学実習室、水治室、装具加工室 731教室
- イ 作業療法学科：日常動作訓練室、手工芸室、732教室
- ウ 言語聴覚学科：聴力検査室、観察室・訓練室、753教室
- エ 柔道整復学科：柔整実技実習室、付属整骨院、付属柔道場
- オ はり・きゅう学科：はり・きゅう実技実習室、付属鍼灸院、742教室

(4) 評価アンケートの記入

学校運営に係わる各評価項目（8区分・24項目）に対し三択方式（「なされている。」、「改善すべきところがある」又は「わからない」の三択）によるアンケートを実施するとともに、改善意見・要望等の自由意見を記入していただいた。

(5) 各評価委員による意見交換

評価結果及び学校関係者評価の実施に関する所見について、各評価委員から所見を開陳していただいた。

(6) 懇談

学科ごとの懇談形式により、当該学科担当の評価委員と学科長及び教員との間で、学校運営や学生教育について情報交換・意見交換を行った。

6 評価結果

(1) 学校運営

「運営方針・事業計画等は策定されているか」「運営組織等は組織され機能しているか」及び「学生本位の業務運営はなされているか」の全項目に対し、「なされている」との評価をいただいた。

(2) 教育活動

「各学科の課程編成（クラスの定員）はまもられているか」「学科ごと到達可能な教育目標は確立されているか」「カリキュラムは体系的に編成されているか」「卒業・進級基準は明確になっているか」の項目において「なされている」との評価をいただいた。「授業評価、公開授業等による教育の質の向上に努めているか」「個々の学生に応じた教育・指導はなされているか」の項目については「わからない」、「科目に応じた教員を確保しているか、またその能力・資質は適切か」の項目において「改善すべきところがある」の評価をいただいた。

(3) 教育成果

「就職率の向上は図られているか」の項目において「わからない」、「留年・退学者の抑制のための努力はなされているか」の項目について「改善すべきところがある」と「わからない」、「卒業後のフォローはなされているか」の項目について「改善すべきところがある」と「わからない」の評価をいただいた。

(4) 学生支援

「学生相談への対応はなされているか」・「学生の経済的側面に対するフォローはなされているか」の項目について「なされている」の評価を、「学生の健康管理について措置はなされているか」において「わからない」という評価をいただいた。

(5) 学習環境

「施設・設備は教育に対応できるよう整備されているか」・「安全管理に関する措置はなされているか」において「なされている」、「学外を含めた実習・実践教育はなされているか」の項目において「わからない」の評価をいただいた。

(6) 募集広報

「学生募集は適切に行われているか」「入学選考は適切に行われているか。」において「なされている」という評価をいただいた。

(7) 学校評価

「自己評価・自己点検は適切に実施されているか」の項目に対し、「わからない」との評価をいただいた。

(8) 情報公開

「必要な情報の適時、提供できているか」の項目に対し「なされている」との評価をいただいた。

(9) 別紙「2024年度学校関係者評価アンケート結果」

7 総 括

- (1) 実施事項・内容及びその要領等を含め評価の取組については、全ての評価委員から高い評価をいただいた。本校としても、学生教育をはじめとする学校運営全般について、学校関係者への説明責任を果たすとともに、これら関係者のご理解とご協力を得る貴重な機会となったことは大変有意義であった。
- (2) 「科目に応じた教員を確保しているか、またその能力・資質は適切か」の質問に「改善すべき点がある」と評価をいただいた点に関して、各学科の必要人員についての説明と公開授業の実施により能力・資質を評価している取り組みについての十分な説明が必要である。
- (3) 評価項目の殆どに肯定的な評価をいただいたが、【教育成果】の「卒業後のフォローはなされているか」の質問に「改善すべきところがある」や「わからない」との評価をいただき、「就職してもすぐ辞めないか心配になります」との意見もいただいたため、卒業後の就業状況の確認、求人の紹介・就職斡旋の実施など、卒業前にアナウンスするなどの対策が必要である。
- (4) 次年度の学校関係者評価においては、今回の実施内容・要領を踏まえ、学校の現況や新たな取り組みについてより理解を深めて頂くとともに、「わからない」という評価内容について事前説明を行い、幅広く貴重な意見等を頂けるよう、引き続き改善を図っていく。